

■ 特別課題研究

【地域資源活用高機能人工沸石合成事業費】

瀬戸産原料を活用した高機能ゼオライトの合成技術の開発 (1/1)

瀬戸産原料を活用した高機能ゼオライトの合成技術の開発 (1/1)

(担当)瀬戸窯業技術センター [犬飼直樹、梅田隼史]

(内容)古くから焼き物の原料として使われてきた地域資源の瀬戸産粘土は近年、用途拡大あるいは新規用途開発を迫られている。この瀬戸産粘土の高付加価値化を目的に、アルミニウムやリチウム等を添加・造粒し、加熱処理をへて、アルカリ溶液中で水熱処理をすることにより、大気から酸素、窒素を分離する能力の高いゼオライトを合成する。出発原料の瀬戸産粘土は反応性がやや低く、不純物の影響も考えられるため、適切な合成条件を探る必要があり、最適合成条件の確立を目指す。

■ 経常研究

県内各地の伝承、民話、伝統芸能等をモチーフとした食器類のデザイン開発 (2/2)

祭り・伝統芸能をモチーフとした食器類のデザイン開発 (1/1)

(担当)瀬戸窯業技術センター [宮田昌俊、寺井 剛]

低温焼成セラミックスの研究 (1/1)

(担当)瀬戸窯業技術センター [倉地辰幸、長谷川恵子]

難分解性化学物質の浄化のための架橋粘土光触媒の開発 (1/2)

光触媒材料の検討 (1/1)

(担当)瀬戸窯業技術センター [木村和幸、梅田隼史]